

# 第4回 阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会 ニュース

当日の内容を皆様と共有させていただくため、ニュースを毎回発行していきます。

2019年3月18日 発行

2019年2月13日に「第4回阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会」をローズWAMにて開催しました。

今回も商店会で営業されている方や阪急茨木市駅周辺まちづくりに関心のある方など、総勢14名の方に参加いただきました。

今回のワークショップでは、これまでの学集会で参加者の皆様からいただいた意見や場所などを地図に落とし込み、皆さんが思い描くまちのイメージを具体化し、参加者で共有を図りました。

また、前回に引き続き、アドバイザーとして近畿大学総合社会学部の久教授にご参加いただきました。

## ○ 茨木市中心市街地まちづくりシンポジウムの報告

茨木市より昨年11月18日に開催された「茨木市中心市街地まちづくりシンポジウム～次なる茨木へ。中心市街地と駅前のあり方～」の概要を報告しました。

大阪市立大学・嘉名教授の基調講演の内容やパネルディスカッションに参加したパネリストのまちづくりに対する考え等を紹介し、阪急茨木市駅周辺のまちづくりにも活用できる考え方やアイデアを共有しました。

## ○ 中間とりまとめ報告

第1回から第3回までの学集会での意見交換やワークショップの中でいただいた皆様からのご意見をとりまとめ、市から中間報告しました。

### 阪急茨木市駅周辺の現状・課題

- ・ 商店街や駅前に賑わいが不足
- ・ 駅前やまちなかに交流や憩える空間が不足
- ・ 駅と商店街のつながりが不足
- ・ 交通利便性は高いが、交通等に改善が必要

### 阪急茨木市駅周辺の強み・特徴・資源

- ・ 中心市街地は暮らしやすい
- ・ 魅力的、個性的なお店が増えてきた
- ・ 商店街が多い
- ・ 神社や商店街など、まち歩きができる場所がある

### 思い描く暮らし・将来のイメージ

- ・ 交流のある暮らし
- ・ 若いファミリーが街中を歩く
- ・ 広場でイベント活動
- ・ 日の当たるスポットでゆっくり過ごす
- ・ 子供がワクワクできる街
- ・ 茨木は商店街のまち

## 阪急茨木市駅周辺に求められるモノ・コト

商業：ゆっくりできる店舗や家族で利用できる飲食店 / 商店街のまちを継承

施設：交流できる場所、憩える空間 / イベントができる場所、広場

交通：渋滞解消 / 自転車や歩行者の安全な交通空間

景観：古い街並みを残す

協働：地域交流 / 駅～商店街へのつながり

## 今後の進め方

①まちあるき（JR側のまちの様子を見て、阪急側のまちづくりの検討に活かす）

②ワークショップ（阪急茨木市駅周辺のまちづくりを考える）

③阪急茨木市駅周辺まちづくりイメージを作成

## ○中間報告に対する講評（久教授より）

もう少し広域的にどういうスポットがあって、どうつないでいけば良いのかを考えていく必要がある。中心市街地の東側に阪急茨木市駅周辺、西側はJR茨木駅周辺、真ん中にシビックゾーンがある。それをつないでいる駅前通りや本通り商店街といった東西軸がある。南北には、さくら通りを中心とした南北軸がある。大きいまちづくりのストーリーを考える中で、それぞれ考えると阪急茨木市駅周辺の特徴が見えてくる。

中間報告のまとめでは、もう少し整理しておかないと、イメージできないところもある。例えば、「家族でご飯が食べられる店」というが、どんな家族かわからない。30代の夫婦と子供が食べる場合と、50代の夫婦と20代になった子供が居酒屋に行く場合で全然スタイルが違う。言葉だけでは見えないところを来年度は深掘りしていかないと、どんなお店がいるとか、どんな空間になっていくのかがイメージできないと思った。ゆっくりできるお店が欲しいという意見もあるが、利用者側はゆっくりしたいが、お店側からすると客の回転が悪くなると儲からない。両者がwin-winの関係になるためには、どういうお店なのかもっと具体的にイメージを共有しておかないと上手くいかない。来年度は、皆でより具体化して共有していけば、いろんなものがもっと具体的に見えてくる。今回は、ある程度のレベルで構わないと思うが、来年度はまだまだ共有しなければならぬ話が残っている。

次回のまちあるきは、JR茨木駅周辺がどのような動きになっているのか、どんな方がどのような使い方をしているのか生で体感していただきたい。そして、阪急茨木市駅は同じようにするのか、あるいは差別化していくのかを来年度考えていきたいと思っている。実際に空間を計画していくので、皆さんにお話いただいたところが一体この場所を言っているのかを空間として押さえていただき、計画・設計に近づけていきたい。地図に落としてみないとわからない事もあるので、そのような事も確認していきたいと思う。

# ○ ワークショップ

下図はこれまで皆様から頂いた意見を図化したものです。場所がわかる意見は地図に反映し、場所がわからない意見はグループ分けを行っています。今回はこの図を利用し、皆さんの思い描くまちのイメージを具体化しました。最後に各班の代表者に発表頂き、参加者で共有しました。

## 凡例

- 現状  
特徴  
課題
- 賑わい  
交流  
憩い・余暇  
利便施設  
コンセプト
- 将来像



**商店街**  
商店街が多い  
魅力的・個性的な店が増加(リノベ)  
SNSで自分発信のいい店が増加  
駅から商店街までがわかりにくい  
商店街の高齢化

**中心市街地(阪急茨木市駅周辺)全体**  
中心部に駅(阪急・JR)や商店街、市役所がまとまっている  
歴史的・自然的資源が多い(プロット部)  
イベントが多い  
若い世代・子育て世代が増えた  
暮らしやすい・住みやすい  
地震をきっかけに防災の取組が進んでいる  
地元意識が強く、三世代・四世代と仲が良い  
かつては、大人なアートを出来る街  
休憩・多世代交流などができる多目的に使える場所が少ない  
若い人が集まる場所、地域の人が集まる場所がない  
駐車場・駐輪場・公共トイレが少ない  
地域に密着した子育て支援の施設が不足  
茨木市の良さを伝えきれていない  
土地が高い・家賃が高い

「ガンバ勝ったDAY」を今後も継続  
商店街にレッドカーペットを敷いてファッションショー  
日没後のシャッター街→寂しい  
商店街の視認性が悪い(駅前ビルが原因)

駅前が寂しい・賑わいがない  
イベントができる空間が少ない  
駅前を拠点にまちなかに導くような動線(商店街や茨木神社など魅力的な場所は既にあり)  
開放的な駅前  
→駅を降りた人が一目で商店街の場所が分かる  
駅前イベント・サークル活動の発表の場  
屋上広場・芝生広場  
広場でバーベキュー(食材は商店街で)

**賑わい**  
多目的に活用できる広場(イベント・休憩など)  
若いファミリーがまちを歩く  
親子や家族が集まれる飲食店が欲しい  
昔の活気を取り戻したい  
チェーン店ではなく、地元店舗が賑わう  
駅前で購入物したい、中心部に人が集まる  
着物を着てまち歩きやイベントをしたい  
誰かに薦めたい店が増えてほしい  
食べ歩きが出来るまち(学生など)  
インスタ映える場所や仕掛け(吉民家など)  
地元の野菜が食べられるお店が増えてほしい

**交流**  
多世代交流ができる場所  
様々な世代が街中に集まってほしい  
色々な人と自然と会話生まれる  
知らない人との関りが茨木の良さ  
自分発信の人がたくさん生まれる  
趣味の教室など人と人のつながりができる場

**憩い・余暇**  
イベントや体験など多目的に活用できる広場  
隣の当たったスポットで体験がしたい  
ゆっくりコーヒーを飲む休憩場が欲しい  
外で音楽を聞いたり、会話したりなど、何かをしながら飲食  
街中で子供・家族と遊べる  
趣味の教室など人と人のつながりができる場  
ボール遊びができる場所  
ゆっくりランチできる場所が欲しい  
ボール遊びができる場所  
芝生を張る→寝転がってゆっくりできる

**コンセプト**  
多世代交流のある暮らしがしたい  
駅や商店街、阪急やJRのつながりがあり、歩きやすいまち  
歴史と賑わいにこだわった街にしてほしい  
地域交流、近隣住民と助け合えるまち  
子供がワクワクできる街・楽しめる街  
日常生活に音楽がある暮らし、音楽がある街  
周辺の古い街並みを残したい  
茨木は商店街のまち、これを継承する(高槻は百貨店)  
ハコモノ整備から人の活動が生まれるスペースの整備に転換  
各エリアの個性を活かし、商店街や茨木神社をブランド化  
北摂地域で働いていい、メディアを介して、アビール合戦

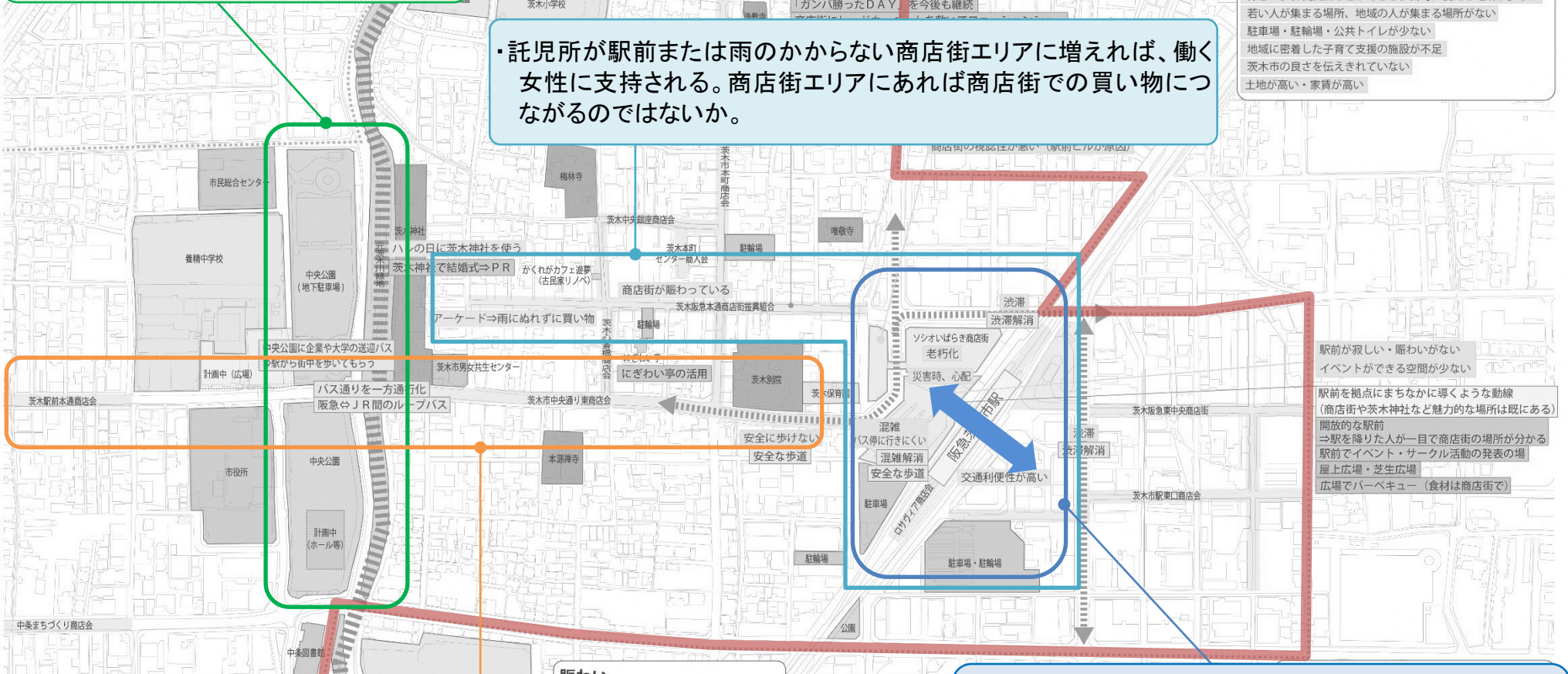




- ・元茨木川緑地にて食べ歩きができるといい。行政には給水等のインフラを用意してほしい。
- ・市役所前広場からテニスコートがなくなったのが残念。利用者が多かった。

- ・託児所が駅前または雨のかからない商店街エリアに増えれば、働く女性に支持される。商店街エリアにあれば商店街での買い物につながるのではないかな。

- ・若い人が市の中心部に入りやすい(借りやすい)ように、貸主に対し固定資産税の減免等でインセンティブを与え、賃料を下げてもらってはどうか。



- ・車の減る時代に対応し、139号線(東西メイン道路)の歩道を拡幅して賑わいのしつらえをつくってほしい。
- ・阪急～JR間は歩くなら遠い。路線バス代(220円)は往復では高額となり、使う人が少ない。100円バスができれば乗る人が増えるはず。今の220円なら車を使うことになる。

- ・駅の東西の通行上のつながりが大切。東西の商店街が分断されないような計画が望ましい。
- ・駅前には広場が欲しい。できれば人工芝の広場と全天候型の広場があればいい。
- ・駅前には高度医療のクリニックモールなどが欲しい。

地元の意識が強く、三世・四世代と仲が良いかつては、大人なデートが出来る街

休憩・多世代交流などができる多目的に使える場所が少ない若い人が集まる場所、地域の人が集まる場所がない

駐車場・駐輪場・公共トイレが少ない

地域に密着した子育て支援の施設が不足

茨木市の良さを伝えきれていない

土地が高い・家賃が高い

駅前が寂しい・賑わいが少ない

イベントができる空間が少ない

駅前を拠点にまちなかにつながる動線(商店街や茨木神社など魅力的な場所は既にある)

開放的な駅前

→駅を降りた人が一目で商店街の場所が分かる

駅前イベント・サークル活動の発表の場

屋上広場・芝生広場

広場でバーベキュー(食材は商店街で)

**賑わい**

イベント・休憩など

多世代交流ができる場所

様々な世代が街中に集まってほ

色んな人と自然と会話生まれ

知らない人との関りが茨木の良

自分発信の人がたくさん生まれ

趣味の教室など人と人のつながり

**交流**

多世代交流ができる場所

様々な世代が街中に集まってほ

色んな人と自然と会話生まれ

知らない人との関りが茨木の良

自分発信の人がたくさん生まれ

趣味の教室など人と人のつながり

**利便施設**

タバコを吸える場所(周りに迷惑

駐輪場を整備→街中に気軽に行

【商店街エリア】

- ・歴史と文化のエリア。
- ・川端康成ゆかりの地など、歴史と文化をどんどんPRすれば、人も集まり、インスタ映えする場所も生まれる。
- ・中心部にこれだけ多くの商店街があることは便利。日用品の買物は駅周辺で揃う。
- ・昼間の商店街の賑わいはある。今後も継続してほしい。
- ・18時以降は店が閉まり、寂しい。

【まちづくり全般に対する意見】

- ・まちづくりのビジョンが欲しい。それを見て意見交換しながら、イメージを膨らませていきたい。
- ・まちづくりのコンセプトは？ターゲットにより、まちづくりの方向性は大きく異なる。

グラウンドの利用率は高い

広場に店ができれば面白い

茨木神社をもっと盛り上げる

子育て世代が使いやすい広場

雰囲気のある建物 (旅館を改装した歯科)

飲食店が多い (カレー・牛タン・フレンチなど)

たこ焼き屋・卵屋・うどん屋など、魅力的な店舗あり

20~30年前は高槻からも買物に来ていた

中華などの魅力的な店舗がある

駅前ビルにより駅から商店街が見えない  
→商店街を通過して中心部に向かう人が少ない？

交通利便性は高いがすぐに目的地に向かう  
現状は駅前を素通り→もったいない

【中央公園エリア】

- ・バーベキューやボール遊びなど自由に使いたい。
- ・禁止事項が多くなると使いにくい公園になる。
- ・公園がきれいになればお店も集まる。
- ・音楽イベントは周辺住民から苦情がある。

賑わい

目的に活用できる広場 (イベント・休憩など)  
ファミリーがまちを歩く  
子や家族が集まれる飲食店が欲しい  
の活気を取り戻したい  
オープン店ではなく、地元店舗が賑わう  
前で買物がしたい、中心部に人が集まる  
物を着てまち歩きやイベントをしたい  
かに薦めたくなる店が増えてほしい  
歩歩きが出来るまち (学生など)  
インスタ映えする場所や仕掛け (古民家など)  
元の野菜が食べられるお店が増えてほしい

交流

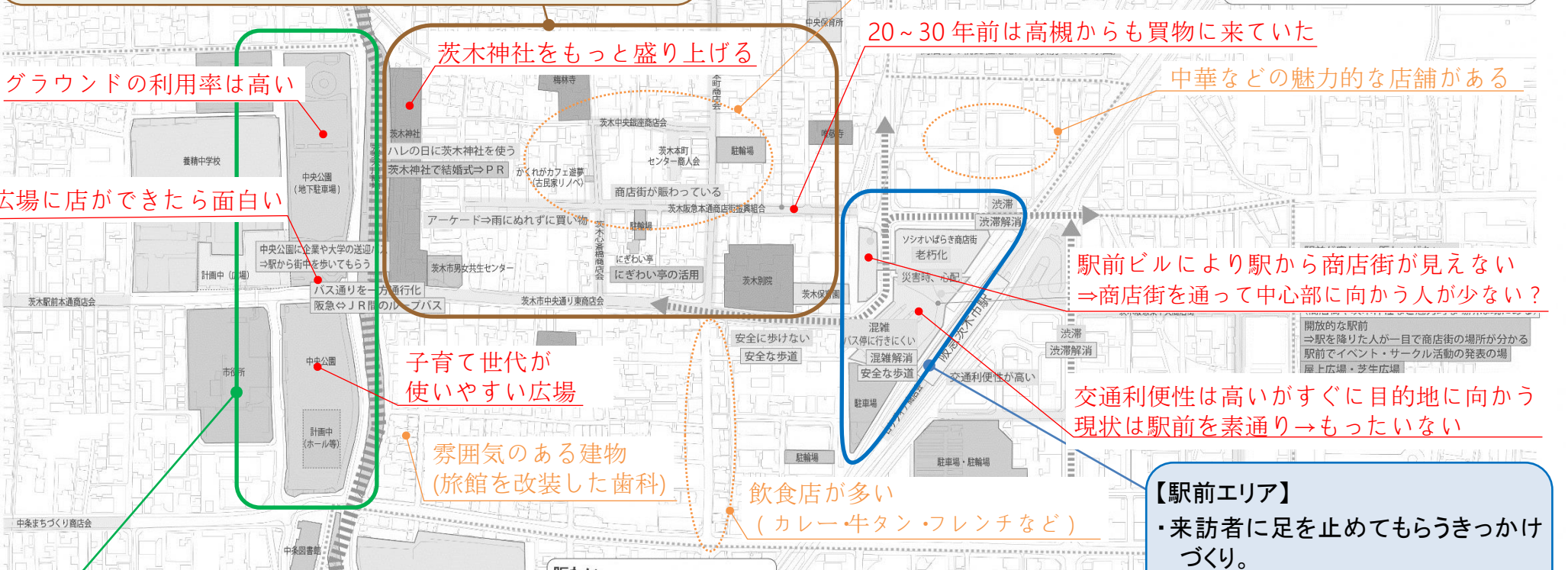
多世代交流ができる場所  
様々な世代が街中に集まってほしい  
色々な人と自然と会話が生まれる  
知らない人との関りが茨木の良さ  
自分発信の人がたくさん生まれる  
趣味の教室など人と人のつながりができる場

利便施設

タバコを吸える場所 (周りに迷惑をかけない)  
駐輪場を整備→街中に気軽にに行けるように

憩い・余暇

イベントや休憩など多目的  
陽の当たるスポットで休憩  
ゆっくりコーヒーを飲む休  
外で音楽を聞いたり、会話したり  
街中で子供・家族と遊べる  
街中の広場や公園でゆっくり  
コーヒーを飲みながら読書  
ゆっくりランチができる場所  
ボール遊びができる場所  
芝生を張る→寝転がって休



商店街

商店街が多い  
魅力的・個性的な店が増加 (リノベ  
SNSで自分発信のいい店が増加

「ガンバ勝ったDAY」を今後も継続  
商店街にレッドカーペットを敷いてファッションショー

若い人が集まる場所、地域の人が集まる場所がない  
駐車場・駐輪場・公共トイレが少ない  
店舗の営業したるまで歩道の幅が狭い

安全に歩けない  
安全な歩道  
安全な歩道  
交通利便性が高い

開放的な駅前  
→駅を降りた人が一目で商店街の場所が分かる  
駅前イベント・サークル活動の発表の場  
屋上広場・芝生広場

【駅前エリア】

- ・来訪者に足を止めてもらうきっかけづくり。  
(例:自由に使える広場を整備やイベントを実施など)
- ・駅前には集客もあるので、イベントに向いている。
- ・駅前には、音が出るイベントに向いている。



## ○ まとめ（久教授より）

皆さんに議論してほしいことは、自分事として「ここをどう使いたいのか」「どういう風にすれば出かけたくなるか」ということ。そこからヒントや手掛かりが得られる。イメージを湧かせて、そのイメージを共有できるかがポイントである。

茨木市外の方と話をすると、茨木市は市民が元気という意見をよく聞く。どこかでいつも誰かが何かをやっていて、市民が文化の種をまいて育てている。市民文化をもっと育てていけるような種の仕掛けや空間作りをやっていくと、もっと茨木らしさが出てくると思う。みんなで大きな方向性を共有し、個々の活動はそれぞれの方が頑張っていくと一定の方向に進んでいく。どの方向に向かっていくのか皆さんと議論したい。

1班では、子育てママさんという話も出たが、今後、色々な方に参加してもらい、自分事として語っていけるような展開を続けていきたいと思う。

## ○ 次回、まち歩きについて

次回は以下の通り、まち歩きを開催します。JR 茨木駅周辺の街の様子を肌で感じていただき、阪急茨木市駅周辺のまちづくりのヒントを探りたいと思います。

参加ご希望の方は、下記の連絡先にご連絡ください。

### 【まち歩きについて】

日時：2019年3月30日（土）—10:00～12:00 **※時期延期となりました。**

10時に岩倉公園南側（スターバックスコーヒー前）に集合

概要：岩倉公園や JR 茨木駅東口広場（スカイパレット）などを見学する予定

その他：途中参加、途中退出も可能ですので、お気軽にご参加ください。

参加費は無料です。

詳しくは、別紙【まち歩きのご案内】をご参照ください。

連絡先：茨木市 市街地新生課 担当：三浦、参河（みかわ）

TEL :072-620-1821 FAX :072-620-1730 mail:shigaichi@city.ibaraki.lg.jp